

ほぼたきHP版

大分大学教育学部

附属小学校

平成29年6月30日

天気が心配されましたが、活動になると雨が上がるという奇跡のような1泊2日の香々地合宿に行って参りました。1日目はいかだ体験(いかだレースも)、カレー作り、キャンドルファイヤー、2日目は所内オリエンテーリングがありました。様々な体験活動も大切ですが、この2日間で5年生が大切にしていたものは「前進」です。6年生に向け、自分のため、友だちのために考えて行動することに重きを置いた活動でした。具体的には、日頃学校で大切にしている「あいさつ」「そうじ」「履き物そろえ」はもちろん、時間を守ることや公共施設に使い方などもそれぞれが声を掛け合い気をつける姿がたくさんありました。

私が最も感心したのはしおりを読み、個々が責任を持って行動することです。このような行事では「先生次は何ですか?」とよく聞く子どもがいるのですが、ほとんど聞かれないと言ったことがありませんでした。しおりを自分で確認し、分からないときは友だちと相談する・・・自然と助け合う姿ができていました。もちろん、班の中でちょっと言い合いになることもあったようですが、活動の後に必ず「ふり返り」をし、冷静に自分たちを省みる姿、認め合う姿もありました。

この2日間、自分のことは自分でする大変さはあったようでしたが、得るものも多かったのではないのでしょうか。



いかだレースで、見事なオールさばきがあちこちで・・・でも一番うまかったのは救助艇の益戸先生!?





汗びっしょりになって作ったカレー。ご飯のお焦げも、ちょっぴりかたいジャガイモも、おいしかったなあ…。



2日間のお礼にキラキラ掃除をさせていただきました。香々地青少年の家のみなさんが、子どもたちの姿を大絶賛して下さいました。



キャンドルの火を囲んで全員で歌った「絆」。キャンドルの火とクリスタルボイスの幻想的な雰囲気校長先生がうっとりしていました。

